

電波タイムズ

5月23日

金曜日

月水金曜日発行 (祝日休刊)

The Dempa Times

発行所 株式会社 電波タイムズ社

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目20番1号 電話 03(5473)5050 FAX (5473)5051

大阪支社/支局：中部・静岡 http://www.dempa-times.co.jp

村野・元富士通研究所会長に総務大臣賞

日本ITU協会「世界情報社会・電気通信日のつどい」開催

一般財団法人日本ITU協会(東京都新宿区、小笠原倫明理事長)は、16日に京王プラザホテル(東京都新宿区)で、国際電気通信連合(ITU)の定める世界情報社会・電気通信日「World Telecommunication and Information Society Day」を記念して、「第46回世界情報社会・電気通信日のつどい」式典を開催した。後援は総務省、一般社団法人電産産業会、一般社団法人情報通信技術委員会。各賞の贈呈式と記念講演が行われて、情報通信分野での国際標準化活動や国際協力活動において長年にわたる功績をたたえ、特に顕著な功績のあった人を称える総務大臣賞を村野和雄・元富士通研究所会長が受賞した。また、キャスターの滝川クリステルさんが日本ITU協会賞【特別賞】を受賞した。



「第46回世界情報社会・電気通信日のつどい」式典の様相

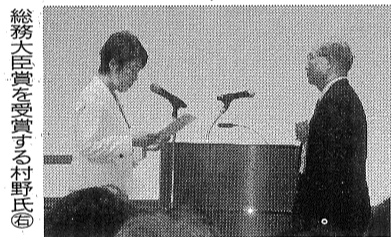
て、ITUの次の研究課題等が決定されて、また今年10月にはITUの最高機関、全権委員会が韓国で、11月にはアジア・パシフィックの国際機関であるAPTでも3年に一度の総会が開催されるといったことから、本年は重要な節目の年となる。昨今のITUでの主要な活動テーマでは携帯電話の新しい周波数帯の活用やサイバーセキュリティの確保、クラウドコンピューティング、モバイルインターネットなどの促進等、極めて重要な課題があり、これらの解決には各国政府や幅広い産業界が今まで以上に一体となって取り組むことが必要である。加えて、2020年の東京オリンピック、東京パブリックでは新たな通信放送技術を用いた次世代型のイベントであることが期待されている。わが国と世界各国との結びつきをさらに強める絶好の機会であるので、私も通信放送分野に従事するものとしてこれ以上望むべくもない目標を与えられたものと思つた。日本ITU協会としてもこのITU活動の今日的意義、さらには東京オリンピックの成功という日本国民共通の目標に向けて、会員各位そして世界各国とこれまでも増して連携を深めていきたいと思つたと述べた。



小笠原理事長



上川総務副大臣



総務大臣賞を受賞する村野氏

システムに寄せられていることである。私は、先月下旬にエクアドルを訪問し、日本地デジ方式普及のためのビジネスセミナーを開催しわが国の官民ミッションの団長として参加した。セミナーでは300名を超える大きな参加があった意見交換を密接に行つて、その折にも日本をパートナーとして高い信頼感をお寄せいただいたと感じたところである。日本発のグローバル展開モデルを提案していく上でなによりも海外からの高い信頼感という資産を最大限に活用することが大事であると感じた。ICTはポータラレスで、世界を俯瞰した技術、システムである。ICTは防災分野、環境分野、エネルギー分野などにおいても地球規模の課題を解決することにも大きな役割を果たすものである。そして、グローバル時代において、これからICTの発展に向けて、100数十年の歴史のあるITUの役割はますます大きくなる。国際的なICTの発展に寄与していく、国際的な周波数の分配や国際標準化、途上国への開発支援といったところでITUの任務は計り知れない重要なものになっていくと思つた。ITUが地球を俯瞰する時代に適切に対応できるように、日本としてもしっかりしたリーダーシップを発揮することが重要である。これまでの経験と実績を活かしてグローバル時代のITUの舵取り役にと考えるところである」と述べた。

西本逸郎ラック取締役 CTO、サイバー・グリッド・ジャパンGM、スマート・ビジネス・ファクトリGMが「組織化したサイバー攻撃実態の考察と対策」東京オリンピックで見せたIoT時代を見据えて」と題して記念講演を行った。

「第46回世界情報社会・電気通信日のつどい」式典は、冒頭で小笠原日本ITU協会理事長が主催者挨拶し「ITU、国際電気通信連合は世界でもっとも古い国連の専門機関で、現在、193の加

された5月17日を毎年の記念日としているものであり、この記念すべき日にITUの活動に貢献いただいた多くの方々に對して本年も総務大臣賞、日本ITU協会賞を贈呈することは大変喜ばしいことである。心から長年の活躍に敬意を表するものである。さて、今年4月にはドバイで世界電気通信開発会議が催され

副大臣が次のように来賓挨拶した。「はじめに本日、名誉ある賞を受賞される方々に対して心からお祝いを申し上げます。皆さま方はこの分野において国際標準化の活動や国際協力の活動を通じて情報社会の実現に顕著な貢献をされてこられた。私たちの社会生活においてICTの果たす役割はますます大きなものになっていく。本日、第46回世界情報社会・電気通信日のつどい式典が盛大に開催されることは大変意義深いものである。安倍内閣の最大の使命は日本の再生であり、経済の再生と財政の健全化の両立を実現することが私の使命である。この使命に大きく貢献することがICTの持続的なイノベーションであり、ICTの国際展開がなくては、この日本再生はないと思つたところであります。グローバル化が進む中、わが国のICTの強みを存分に活かして、国際展開を行うことが日本経済の成長を達成する上で大きな鍵となる。2020年の東京オリンピック、東京パブリックにむかって日本を世界有数のリーダーにする、ICTの役割はますます大きくなる。国際的なICTの発展に寄与していく、国際的な周波数の分配や国際標準化、途上国への開発支援といったところでITU

多美雄(エリックソン・ジャパン)▽川村一雄(NTT東日本)▽横谷哲也(三菱電機)▽渡辺馨(NHK)▽日本ITU協会賞国際協力賞▽伊藤義雄(元NTT)▽梅澤由起(公益財団法人KDDI財団)▽NTTベトナム▽瀬上功一(元NHK)▽中村英毅(元NTT)▽野中正晴(特定非営利活動法人認定NPO法

第46回世界情報社会・電気通信日のつどい」式典の様相

△石川禎典(日立製作所)△河合宣行(KDDI)△興水敬(NTTドコモ)△ソフトバンクモバイル電波伝搬標準化推進チーム△富田茂(NTTアドバンステクノロジ)△本